

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年02月28日

計画の名称	御前崎市における住宅セーフティネットの構築（地域住宅計画）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	御前崎市												
計画の目標	市営住宅の外壁改修工事など、ストック総合改善事業を行うことにより、セーフティネットとしての役割を担う市営住宅の質の向上を実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	116	A	116	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	市営住宅における外壁劣化の認められる住棟の改修を行う。 市営住宅の外壁改修の棟数 (市営住宅の外壁改修を行う棟数率) = (長寿命化計画に基づいて改善された棟数) / (改善が必要と判断された全棟数)	14%	0%	86%
2	市営住宅における給排水設備に劣化の認められる住棟の改修を行う。 市営住宅の給排水設備改修の棟数 (市営住宅の給排水設備改修を行う棟数) = (長寿命化計画に基づいて改善された棟数) / (改善が必要と判断された全棟数)	4%	0%	8%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	御前崎市	直接	御前崎市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅外壁塗装事業(長寿命化)	御前崎市						84		策定済
	A15-002	住宅	一般	御前崎市	直接	御前崎市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅給排水設備改修事業(長寿命化)	御前崎市						32		策定済
											小計						116		
											合計							116	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
御前崎市事業評価審査会に諮り実施	令和元年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載予定
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	市営住宅の外壁及び給排水設備の改修を行ったことにより、劣化が認められる住棟の躯体及び配管の耐久性が向上し、市営住宅の長寿命化を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続きセーフティネットとしての役割を担う市営住宅の質の向上を図っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	86%
	最終実績値	75%
市営住宅における外壁劣化の認められる住棟の改修を行う。		
予算執行の見直しにより、計画が先送りになったため。		
2	最終目標値	8%
	最終実績値	8%
市営住宅における給排水設備に劣化の認められる住棟の改修を行う。		